

平成27年度
受賞

長崎県生活研究グループ連絡会

～ 県内の食文化の記録化と伝承に取り組む ～

【受賞者の概要】

長崎県生活研究グループ連絡会

- ・所在地: 長崎市尾上町3番1号
(長崎県農林部農業経営課内)
- ・創立時期: 昭和61年
- ・会員数: 379名



【受賞時の活動・現在の活動】

農山漁村の生活向上の促進を目的として結成され、30年以上にわたり県内各地区に伝わる郷土料理、農産加工品の研究と伝承に取り組む、平成24年度には長崎県各地に伝わるおふくろの味を一冊にまとめた「長崎の郷土料理 ふるさとの味」を発行する等、伝統的な食文化の記録化にも力を注いでいます。

また、地元農産物を活用した直売所・農産加工所活動への参画や中学生、一般消費者に郷土料理の指導を行うなど食を通して豊かな地域づくりに貢献しています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

長崎各地区に伝わる、伝統的な食文化を次世代に伝承すべく、各地区連ごとの活動を通じて一般消費者等に郷土料理の指導を行うなど、地域に根ざした活動をしています。

最近では男性の方も興味を示して、本を購入していただいているので、今後も食育活動を通じた活動を継続し、郷土料理の伝承と食を通じた豊かな地域づくりに貢献したいと思います。

【今後の展望(これからの夢)】

今後は本会の目的、主旨に合致した大会に積極的に参加し、本会の活動を対外的にPRしていくとともに、若い世代の方や他の組織との連携強化を図り、活動の継続に努めていきます。



よこおせいぶ
横尾西部自治会

～ 給食の生ゴミを利用した土で元気野菜づくり ～

【受賞者の概要】

横尾西部自治会

- ・所在地:長崎市横尾4丁目6-16
- ・創立時期:平成17年
- ・会員数:35名



【受賞時の活動・現在の活動】

長崎市立横尾小学校に毎日のように出向き、授業とも連動して、児童と一緒に給食で出た残渣(ざんさ)をボカシ(発酵促進剤)とあえて、命(菌)いっぱい^{さんさ}の土作りをして元気野菜作りの活動をしています。

命いっぱいの畑に種を播き、苗を植え、水かけ、草取りの世話をしながら害虫の来ない元気野菜を作り上げる、その成長を観察しています。野菜嫌いな子どもたちも自分で苦労してできた野菜は「美味しい」と言って食べています。また、収穫した野菜を学校給食に使用しています。生産活動と日々の食事との繋がりが実感でき、学習内容がより身近なものになっています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

小学校低学年の子どもの味覚が一番発達しています。収穫した野菜を学校給食で使用することにより、野菜本来の味、旬と旨みを見ることができ、児童が実感して感謝の気持ちが育まれています。

【今後の展望(これからの夢)】

私たちの活動が5～6年生の家庭科の教科書に取り上げられ全国で使用されています。学んだことを活用し、地域の環境を良くするための生活の仕方を工夫するよう指導しています。今後も横尾小学校の特色ある授業として、学校と地域が一つになり、「生ごみリサイクル元気野菜作り」を通して食育の推進に努めていきます。



しまだ まさこ
島田 昌子
～ 昌子おばあちゃんの食文化伝承 ～

【受賞者の概要】
島田 昌子
・主婦
・長崎市在住



【受賞時の活動・現在の活動】
身近にある季節の食材と、いつもの調味料を使って作る保存食や常備菜を中心に、手作りの良さ、おふくろの味を伝えるとともに、失われつつある台所仕事の知恵を伝える活動を長年継続。
NBCラジオの「昌子おばあちゃん、今夜のおかずな～に」で季節の料理を伝える一方、公民館講座や「おふくろの味 長崎四季料理」、「手作りの保存食と常備菜」など冊子の発行を通して食文化を伝承している活動が、平成21年度食育推進活動表彰を受賞。
現在は、西公民館、中央公民館、三川地区ふれあいセンター等で食育活動を継続しています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】
私が大事にしてきた「おふくろの味」は皆さんを元気づける力があるように思います、これから先も大切にしていきたいと思っています。

【今後の展望(これからの夢)】
これから先も出来るだけ自分で作って食べていきたいと思っています。教室の方も続けていきたいと願います。91歳の現在まで自分で作って食べられる幸せを感じております。